

日本食道学会より

『食道癌術前化学療法の奏効と再発形式の関連を明らかにするための多施設共同後ろ向き観察研究』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

本研究は、食道癌に対して術前化学療法後に手術を施行した方を対象に、術前化学療法の効果と手術後の再発の有無や、その場所の関係を明らかにすることを目的としています。

➤ 研究（調査）の方法

日本食道学会所属施設から集められた情報を用いて、術前化学療法の奏効群と術後再発のパターンを調査し、比較を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会の全国登録システムに参加しているすべての施設

➤ 調査期間

調査対象期間（2010年1月1日～2015年12月31日） 研究期間（2020年9月8日～2022年3月31日）

➤ 調査の対象となる患者さんへ

日本食道学会の全国登録に参加している医療機関で手術を受けた方が対象となります。情報はすべて匿名化されており、氏名、生年月日、病院のID等を除いたものを用います。

➤ この調査への協力は任意です。

この研究への協力は自由意思によるものです。この研究へのご参加を取りやめたい方は、以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：北川雄光（慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器））

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局
〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階
TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail:office@esophagus.jp